

GOMOKU 南房江見港出船

多彩な魚種の引きを満喫 絶好調!! 南房のコマセ五目

撮影◎鈴木良和



ハナダイ

●ハナダイは30センチ級の良型主体



マダイ

●マダイは1キロ級がアベレージ



カイワリ

●カイワリは25センチ前後が多かった



アマダイ

●今日のアマダイは40センチ以上の良型ぞろい

●当日最大のアマダイは55センチ、1.7キロ



キダイ

●30センチ級のキダイも上がった



イサキ

●最近イサキは少なめだが



▼一人あたり10目以上の釣果も珍しくない



キントキ

●キントキは大中小と交じる



●何が上がってくるかわくわくしながら巻き上げるのもこの釣りの楽しみ



●仕掛けはハリス3号3本ハリ、コマセカゴはFサイズでオモリ60号、船積支給のコマセはアミ、付けエサのオキアミは持参



●釣り場は航程30分ほどの江見沖、水深は70~90メートル前後



●タナは底から3~5メートル

南房のコマセ五目が好調だ。コマセを振ってタナに合わせた途端にククンと竿先が曲がり込み、マダイやハナダイなどのタイ類を始め、オニカサゴやマハタといった根魚やアマダイ、キントキ、イサキ、カイワリ、ホウボウなど多彩な魚が引きを楽しませてくれる。取材した江見港の第二網丸では、目下は江見沖の水深70~90メートル前後とやや深場を狙っているため、道具立ては手返しが楽な電動リールタックルがおすすだ。(詳細は54ページ参照)

●南房江見港・第二網丸 大川 浅雄船長



オニカサゴ

●根周りを流すため根魚の仲間も多彩に交じる



マハタ



アヤマカサゴ



ウツカリカサゴ



ホウボウ